

2020年6月期 決算説明会

(2019年7月1日～2020年6月30日)

進化する明日へ Continue thinking

I-O DATA

株式会社 アイ・オー・データ機器

設立	1976年1月10日
代表者	代表取締役会長 細野昭雄 代表取締役社長 濱田尚則
本社所在地	石川県金沢市
資本金	35億8,807万円
年商	562億円（2020年6月期 連結）
従業員数	540名（2020年6月末時点 連結）
事業内容	PC・家電・スマートデバイス周辺機器の製造・販売
事業所	東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、広島、福岡
子会社	【台湾】國際艾歐資訊股份有限公司 【香港】艾歐資訊香港有限公司 【USA】I-O DATA America, Inc. 【日本】ITGマーケティング株式会社 【ベトナム】I-O DATA Vietnam Co., Ltd.
関連会社	【シンガポール】I-O & YT Pte. Ltd. 【日本】クリエイティブ・メディア株式会社
上場	6916 東京証券取引所第一部

2020年度6月期 損益計算書

I-O DATA

(単位：百万円)

	2019年6月期 金額 (構成比)		2020年6月期 金額 (構成比)		前年同期比較 増減額 (増減率)		主な増減要因
売上高	59,223		56,204		▲3,019	(▲5.1%)	・Windows7のサポート終了に伴うPCの更新需要の終了、新型コロナウイルスの影響による法人需要の減少
売上総利益	10,789	(18.2%)	10,898	(19.4%)	109	(1.0%)	・前期は特殊要因による余剰在庫に対する評価損を計上した影響から原価率が上昇（当期は概ね期中安定）
販売費及び一般管理費	8,559	(14.5%)	8,771	(15.6%)	212	(2.5%)	・主に研究開発費、減価償却費の増加
営業利益	2,230	(3.8%)	2,127	(3.8%)	▲103	(▲4.6%)	
営業外収益	202		572		370	(183.1%)	・為替差益383の計上
営業外費用	260		157		▲103	(▲39.6%)	
経常利益	2,172	(3.7%)	2,542	(4.5%)	370	(17.0%)	
特別利益/損失	▲47		41		88	(-)	
法人税等合計	0		685		685	(-)	・前期は繰延税金資産の回収可能性の見直しにより、法人税等調整額▲916を計上（当期は通常税率に戻る）
非支配株主に帰属する 当期純利益	39		23		▲16	(▲41.0%)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,085	(3.5%)	1,874	(3.3%)	▲211	(▲10.1%)	

期中平均為替レート (USD)

111.12円

108.18円

2020年6月期 損益計算書 四半期推移

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
売上高	14,102	15,110	14,210	12,782	56,204
売上総利益 (粗利率)	2,780 (19.7%)	2,803 (18.6%)	2,806 (19.7%)	2,508 (19.6%)	10,898 (19.4%)
販売費及び一般管理費 (販管比率)	2,219 (15.7%)	2,400 (15.9%)	2,161 (15.2%)	1,990 (15.6%)	8,771 (15.6%)
営業利益 (利益率)	561 (4.0%)	402 (2.7%)	644 (4.5%)	518 (4.1%)	2,127 (3.8%)
営業外収益	252	144	▲239	414	572
営業外費用	36	34	63	23	157
経常利益 (利益率)	777 (5.5%)	512 (3.4%)	341 (2.4%)	912 (7.1%)	2,542 (4.5%)
特別利益	0	10	0	31	41
法人税等合計	231	279	▲69	243	685
非支配株主に帰属する 四半期純利益	7	12	24	▲21	23
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (利益率)	537 (3.8%)	230 (1.5%)	387 (2.7%)	719 (5.6%)	1,874 (3.3%)

期中平均為替レート (USD)

107.37円

108.76円

108.91円

107.63円

I-O DATA

部門	人数
前期の反動	55,441
需要の減退	59,223
シェア低下	56,204
巣籠もりテレワーク	5,000
PCの更新需要	5,000



2020年6月期 貸借対照表

(単位：百万円)

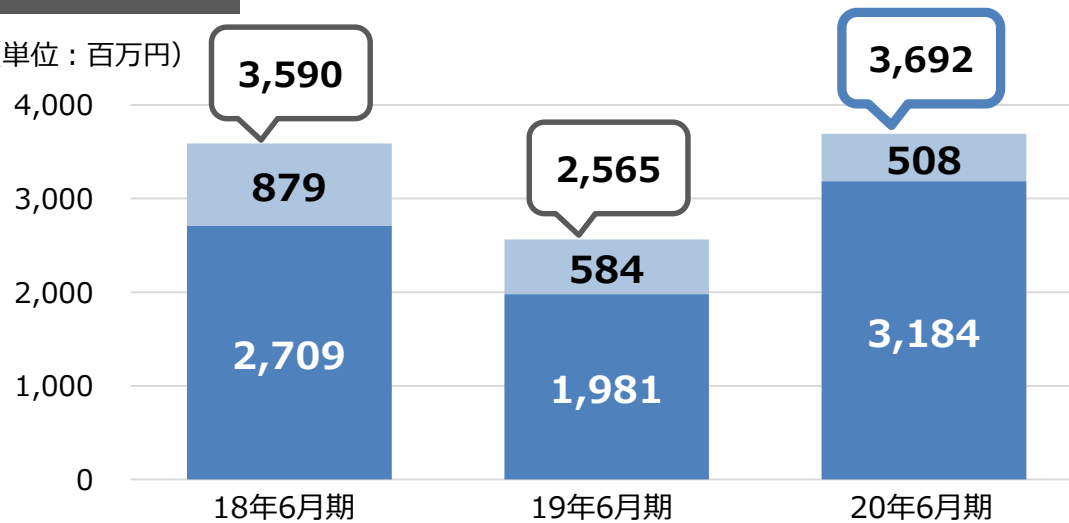
	2019年 6月末	2020年 6月末	前年同期比	主な増減理由
流動資産	30,134	30,974	840	
現金及び預金	7,502	9,353	1,851	・営業CFの増加
受取手形及び売掛金	11,236	10,199	▲1,037	・4Qの減収による影響
たな卸資産	10,745	10,379	▲368	
その他の流動資産	649	1,040	391	
固定資産	10,198	10,425	227	
有形固定資産	6,103	6,512	409	・物流倉庫等の土地取得（770）
無形固定資産	1,254	1,077	▲177	
投資その他の資産	2,841	2,836	▲5	
資産合計	40,333	41,400	1,067	
流動負債	12,240	11,939	▲301	
支払手形及び買掛金	6,871	7,266	394	
短期借入金	1,000	100	▲900	
その他の流動負債	4,367	4,571	204	
固定負債	1,538	1,168	▲370	
負債合計	13,778	13,107	▲671	
株主資本合計	26,178	27,655	1,477	・利益の計上、剰余金の配当
その他の包括利益累計額合計	217	467	250	
非支配株主持分	158	170	12	
純資産合計	26,554	28,293	1,738	
負債純資産合計	40,333	41,400	1,067	

部門別の概況

- メモリモジュール : PCの更新需要に伴い販売は伸びるも、単価下落により減収
- フラッシュメモリ : ゲーム機への増設需要の高まり、値頃感が生じたこと等から、前期末より販売を開始したポータブルSSDが増収を牽引
- (メモリカード・USBメモリ・SSD)

売上高の推移

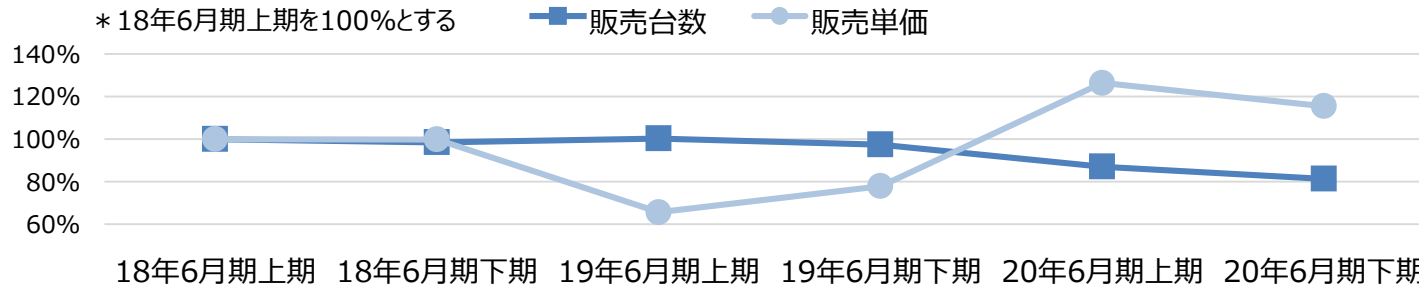
(単位：百万円)



前年同期比	増減額	増減率
メモリモジュール	▲76	▲13.0%
フラッシュメモリ	1,203	60.7%

当部門全体の台数・単価の増減推移

* 18年6月期上期を100%とする



前年同期比	増減率
販売台数	▲14.8%
販売単価	68.8%

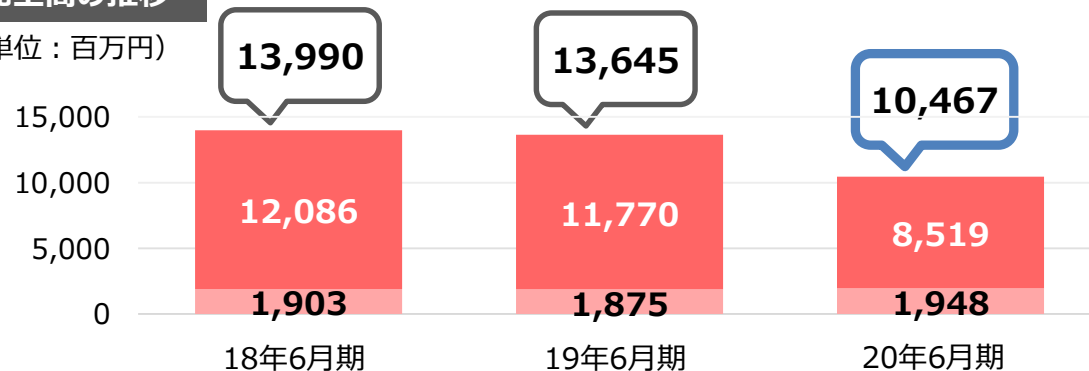
※19年6月期通期と20年6月期通期の比較

ハードディスク : 前期下期の価格競争で失ったシェアが響く

光ディスクドライブ : PC増設用モデル、音楽CDをスマホで楽しむ「CDレコ」共に堅調

売上高の推移

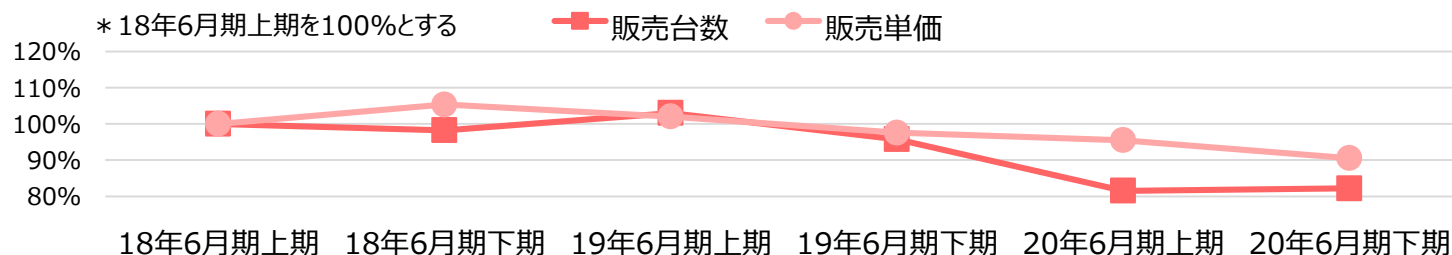
(単位: 百万円)



前年同期比	増減額	増減率
HDD	▲3,251	▲27.6%
DVD/BD	73	3.9%

当部門全体の台数・単価の増減推移

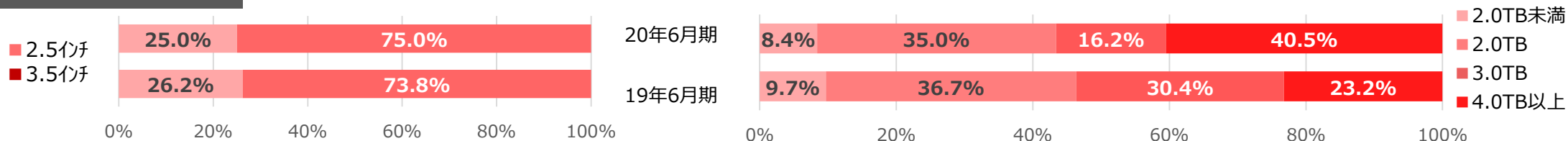
* 18年6月期上期を100%とする



前年同期比	増減率
販売台数	▲17.6%
販売単価	▲6.9%

※ 19年6月期通期と20年6月期通期の比較

外付HDDの容量の内訳



上期はオフィスや学校向けに汎用モニター・大型モニターの販売が好調に推移

下期はコロナ禍で法人需要が鈍る中、テレワーク・巣籠もり需要等の個人消費に支えられる

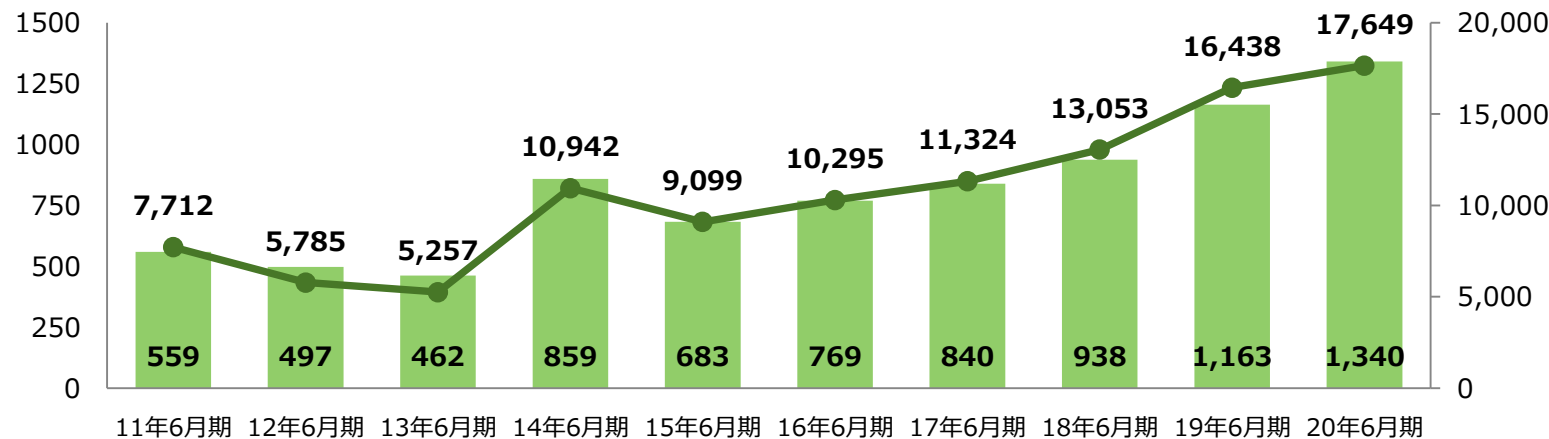
eスポーツモデルも好調

売上高・販売台数の推移

販売台数（単位：千台）

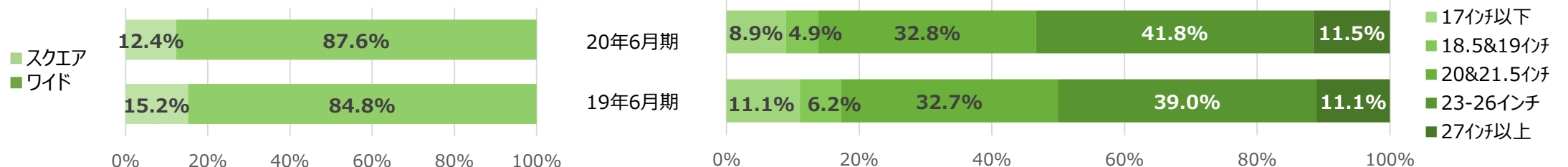
■ 台数(通期) ● 売上高(通期)

売上高（単位：百万円）



前年同期比	増減率
● 売上高	7.4%
■ 台数	15.2%

タイプ・サイズ別内訳 [販売台数]

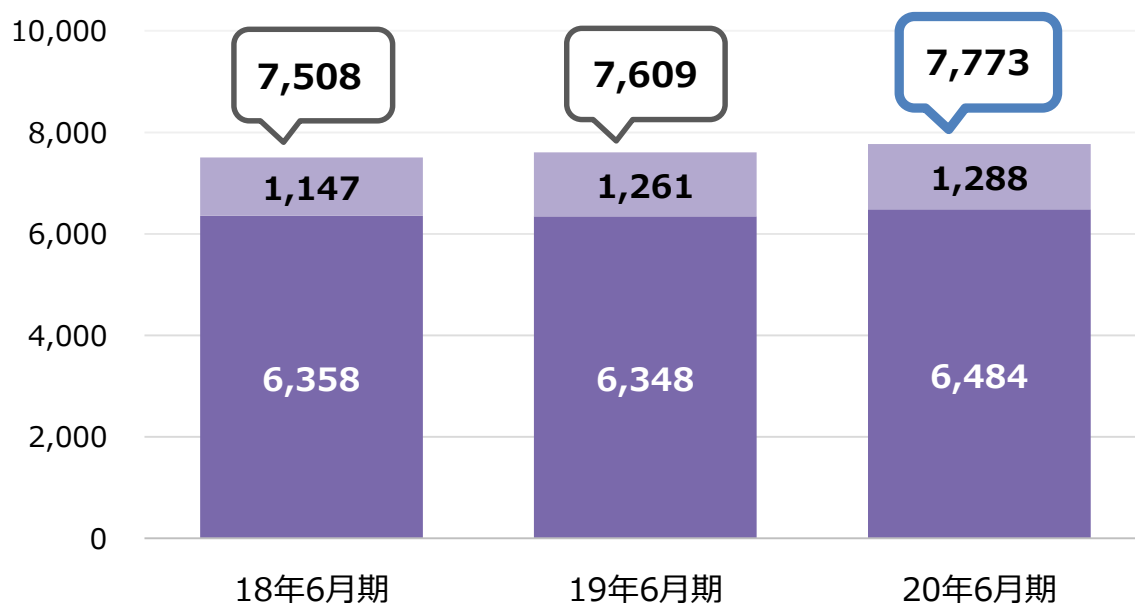


映像関連分野：上期は減収にあったが、下期に入りテレワークや巣籠もり需要が生じWebカメラ代替や動画配信ツールとしてビデオキャプチャーの注文が急増
残念ながら、欠品により売上は微増に留まる

ネットワーク分野：映像関連分野と同様に、上期減収ながら下期は無線LANルーターの販売伸びる

売上高の推移

(単位：百万円)



前年同期比	増減額	増減率
映像関連分野	27	2.1%
ネットワーク分野	136	2.1%

特注部門/商品およびその他部門

特注部門

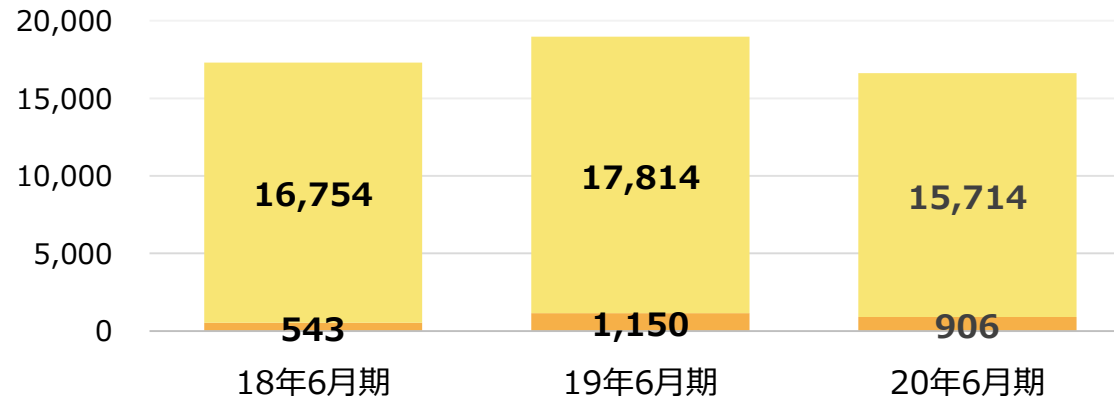
：前期に増加した通信事業者向け案件の反動減

商品およびその他部門

：主にVerbatimやサムスン電子製フラッシュメモリが伸び悩む

売上高の推移

(単位：百万円)



前年同期比	増減額	増減率
商品・その他	▲2,100	▲11.8%
特注	▲244	▲21.2%

商品、その他

SAMSUNG
SSD, Galaxyオプション



※SSDは子会社ITGマーケティング㈱にて販売

WD
外付けハードディスク



G-Technology
外付けハードディスク、SSD



Verbatim
ディスクメディア、フラッシュメモリ



Creative
スピーカー、音響



2021年6月期の業績見通し

2021年6月期 損益計算書（予想）

（単位：百万円）

	2020年6月期 金額（構成比）		2021年6月期（予想） 金額（構成比）		前年同期比較 増減額（増減率）		主な増減要因
売上高	56,204		57,000		796	(1.4%)	・コロナ禍の影響、PC更新需要の反動が懸念される中、社会・市場ニーズの変化に応じた提案に注力
売上総利益	10,898	(19.4%)	11,000	(19.3%)	102	(0.9%)	
販売費及び一般管理費	8,771	(15.6%)	8,900	(15.6%)	129	(1.5%)	・増収に伴う物流費、人件費等の増加を見込む
営業利益	2,127	(3.8%)	2,100	(3.7%)	▲27	(▲1.3%)	
経常利益	2,542	(4.5%)	2,100	(3.7%)	▲442	(▲17.4%)	・営業外収益、営業外費用は定常発生額のみ想定
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,874	(3.3%)	1,450	(2.5%)	▲424	(▲22.6%)	・特別利益、特別損失は見込まず 税金費用と少数株主利益に 650を見込む

・為替レートの想定： 1ドル105円

・研究開発費の予想 1,430百万円（前年同期比 ▲ 100百万円）

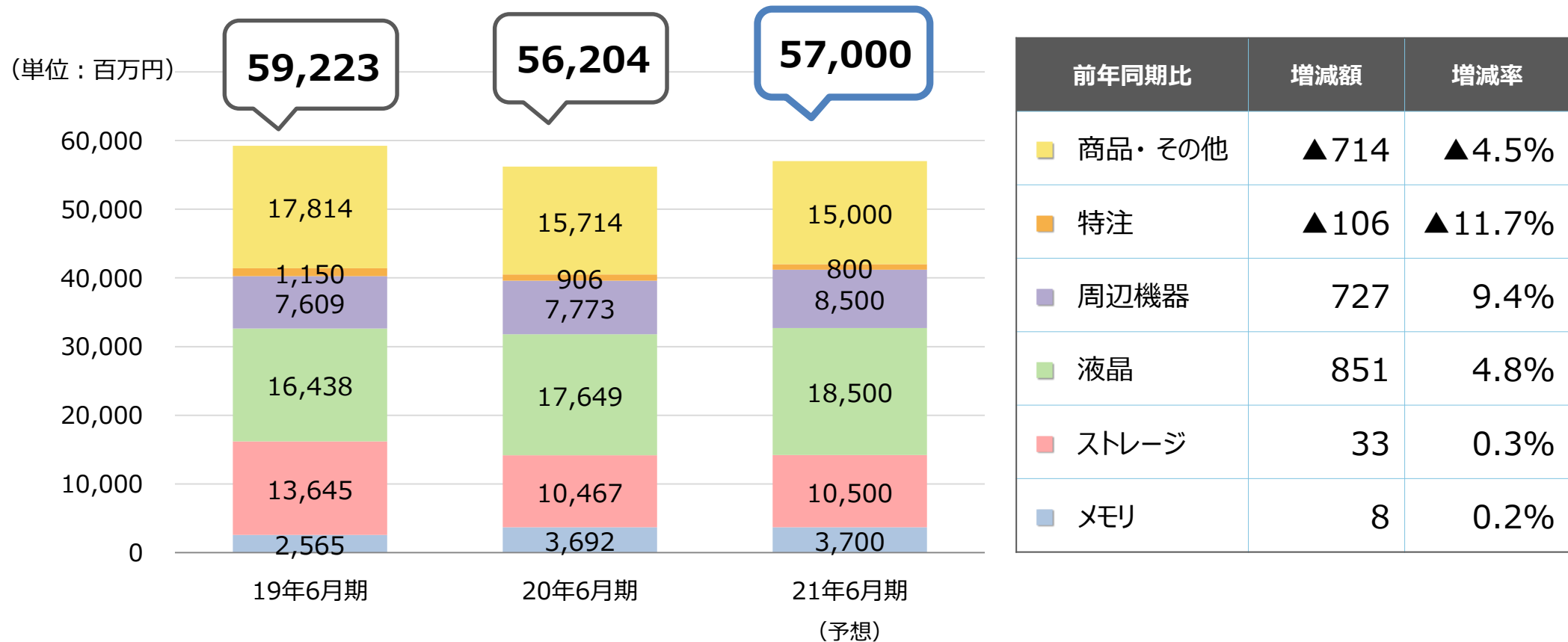
・設備投資の予想： 320百万円（前年同期比 ▲ 621百万円）

・減価償却費の予想 700百万円（前年同期比 ▲ 1百万円）

内訳：物流センター新設に伴う投資は一巡、通常ペースに戻る

2021年6月期 部門別売上高（予想）

コロナ禍の影響および前期の上期に終了したPC更新需要の反動減を見込む一方
テレワークや教育分野のICT化への貢献、医療事務分野への新たなアプローチ等により増収を狙う
(オンライン資格確認専用端末の導入等)



1. サプライチェーンの乱れ

液晶モニターの2月、3月の調達は約3割に留まる
4月には約8割まで回復、5月には正常化
(他の製品については概ね影響なし)

2. テレワーク・巣籠もり特需

外出自粛の下、3月以降液晶モニターや動画配信関連、ゲーム周辺機器の需要が急増
複数商品が欠品し、機会損失が発生
現在も一部影響が残る

3. 上記特需がある一方、需要は総じて減退

企業のIT投資の一部先送りや慎重姿勢、個人消費の動向の変化により
感触として、3月以降の需要は前年同期比10%程低下

4. 新製品開発の遅れ

生産委託先のある台湾・中国・ASEAN諸国等への技術者派遣が困難となり遅滞気味

5. 感染拡大防止の取り組み

お客様と取引先、従業員の安全を第一に考え、テレワークを基本とした事業活動の継続に努める
・本社では5月に最大で7割、足元では5割が在宅勤務
・首都圏含む全国営業拠点は3月より全面テレワーク、直行直帰での営業活動を行う

注力分野

- テレワーク
- リモート会議
- 映像配信
- 教育分野のICT化
- eスポーツ
- おうち時間を楽しむ
- 「オンライン資格確認」専用端末の開発

快適なテレワーク・在宅学習のために

Before



画面が小さくWindowが重なる

After



作業スペースが拡がり効率UP



- トライバンドモデル : 複数デバイスの同時接続に強い
- メッシュ機能搭載モデル : 家中どこでも快適
- Wi-Fi 6 モデル : 最新の高速通信規格



必要な機材一式ラインナップ

大型ディスプレイ

Mini PC

NEW!

USBカメラ・スピーカーフォン

会議室に



USB-PTC1

リモコン操作の首振り機能付
[~20名程度の会議に]



USB-SPPHL1

マイク拡張可能な大会議用
[~20名程度の会議に]



USB-AIOC1

マイク・スピーカー付
[~5名程度の会議に]



USB-SPPHS1

少人数の会議用
[~5名程度の会議に]



GP-UCAM2FA

マイク内蔵
[1~2名の会議に]

自宅/個人使いに



こだわりの配信も直ぐに始められる

ライブストリーミングBOX (PCレス配信)

NEW!

LIVE ARISER



GV-LSBOX

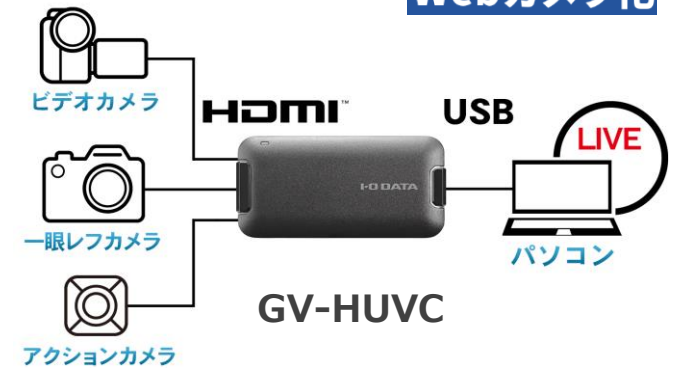


GV-LSMIXER/I

iPad操作型

HDMI⇒USB変換アダプター

ビデオカメラを
Webカメラ化



Webセミナー



オンライン授業

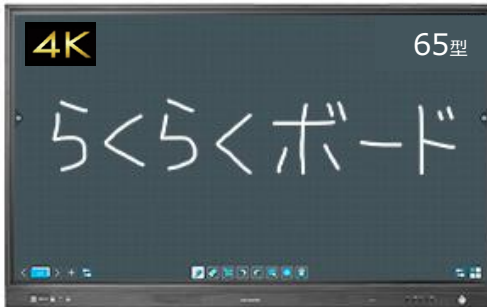


趣味・エンタメ



大型提示装置 ～ 予算に応じた選択肢

電子黒板



4Kモニター



てれたっち



取り付けるだけでタッチパネルに！

2018 2019 **2020** 2021 2022 2023

◎ 教育のICT化に向けた環境整備5か年計画

- **大型提示装置** 普通教室100%整備（計 約46.7万件）

未整備：約22.3万件

5.6万件

5.6万件

5.6万件

5.6万件

※2019年3月時点

※左記の残を4か年で均等割りした場合

- 実物投影機
- 指導者用コンピュータ
- 統合型校支援システム
- 学習用ツール（学習活動に共通に必要なソフトウェア）
- 充電保管庫
- 学習用・校務用サーバー
- セキュリティソフト

◎ GIGAスクール構想

※コロナ禍で加速

- 学習者用コンピュータ（1/3クラス分） → ● 1人1台端末
- 超高速インターネット接続・無線LAN → ● 学校ネットワーク環境の全校整備
- ICT支援員（4校に1人） → ● GIGAスクールサポーター（4校に2人）
- 家庭での緊急時オンライン学習環境の整備（モバイルルータ、カメラやマイク等）

参考 <https://www.mext.go.jp/> より

ビギナーから本格派まで ～ 納得のラインナップ



MMO RPG モデル

*Massively Multiplayer Online Role-Playing Game



LCD-GCWQ341XDB
ウルトラワイド (21:9)
UWQHD (フルHDの約2.4倍の情報量)

FPS モデル

*First-Person Shooting



LCDGC271UXB
240Hz
応答速度0.4ms[GTG]



LCD-GL211XB
60Hz
応答速度0.8ms[GTG]

ゲーム機の容量不足解消 & 快適プレイ

ロード時間の比較



※一般に、会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

おうち時間を楽しむ

I-O DATA



※一般に、会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

*Android TV対応のCD/DVDプレーヤー新登場

「オンライン資格確認」専用端末の開発

I-O DATA

■ 健康保険証の「資格確認」手続きがオンライン化（2021年3月開始予定）

- ・医療機関等では患者が加入する医療保険を確認する必要がある、この手続きを「資格確認」と言う
- ・オンライン化、マイナンバーカードの利用開始により、医療事務の工数削減のメリットが生じる



■ 対象：約24万施設

- ・医療機関：約18万、薬局：約6万（厚生労働省：令和元年度厚生統計要覧より）

■ 本システム化費用は補助対象

- ・資格確認端末の購入-導入、ネットワーク環境整備、既存システム改修 等

医療事務分野に アプローチ

開発中



APX-MEDICAL
「オンライン資格確認」専用端末

I-O DATA

* 資料お取り扱い上のご注意 *

1. 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
2. 本資料中の業績予想ならびに将来予測に関する記述は、当社が資料作成時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済情勢の変動や予測不可能な不確定要因の影響を受けます。従って、実際の業績は本資料中の予想に関する記述とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
3. 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。